

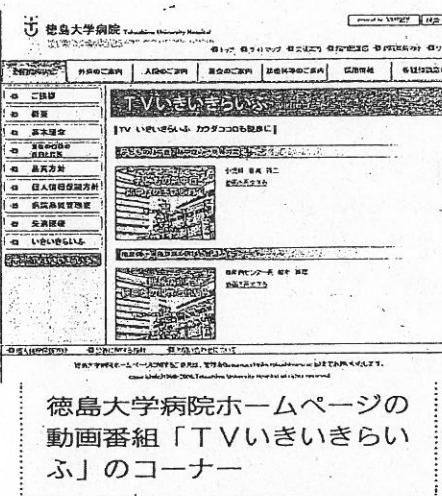
2009.9.15(火)



森川病院教授のネット講座

(33)

「動画を使ったコンテンツ」が脚光を浴びる。私がこう宣言したのは今年の初めでした。最近のインターネット界の動きを見ると「まさにその通りになつてきているでしょ」と、胸を張りたい気分です。「歴史が動いた」といわれる先の衆院選で、大勝した民主党をはじめ各党とも、動画コンテンツ配信が従来のテレビだけでなくインターネットにも流れています。CGM(消費者生成メディア)合戦となりました。年末の韓国大統領選、昨年の米大統領選が有名でした。政治の世界では一昨年、政治資金までインターネットで集めていました。テレビとインターネットとの違いは、受け手の評



徳島大学病院ホームページの動画番組「TVいきいきらいふ」のコーナー

価がすぐに反映できるかどうかということでしょう。視聴率やアンケートという観点からすれば、ネットなら即座に集計ができる。最大の相違点は、ネットが利用できるすべてのインフラで簡単に見ることができます。さらに、放映時間の決まっているテレビと違い、ユーザーがいつでもどこでも、手軽に見ることができます。

このサイトで、ユーザーは無料で動画データをアップできるようになります。動画を撮影するビデオ機材もハイビジョン化されるなど高品質化する一方で、値段は安くなっています。

私の勤務する大学病院特に一人が一台以上持つていてるといわれる携帯端末への効果は絶大です。最近では「Wi-Fi」「DS-i」「PSP」といった人気ゲーム機端末でも閲覧できるようになりました。

ただ、動画コンテンツの制作には、文字だけのテキストに比べて時間と労力と経費がかかり、普及の最大のネックとなっていました。それが解消できたのは、動画サーバーが無料化されてきたこ

とであります。企業価値を上げる動画コンテンツの配信に挑戦してみてはいかがでしょうか。(徳島大学病院・森川富昭病院教授)